



MORIOKA YMCA NEWS

盛岡YMCAの使命

私たち、盛岡YMCAは、イエス・キリストによって示された生き方に学びつつ、豊かな自然と歴史的伝統に満ちた岩手の地で、子ども、家族、地域とともに公正で平和な世界の実現を目指します。

1. 子どもたちの個性を大切に、それぞれの夢や希望、生きる力を育みます。
2. 家族の絆といのちの大切さを深め合います。
3. 共に生きるために、異なった文化、多様な価値観と出会う場を提供します。

2017年9月号



Just the way you are!



発行人：濱塚有史 編集人：武田悠 発行所：特定非営利活動法人 盛岡YMCA 岩手県盛岡市本町通3-1-1
TEL 019 (623) 1575 e-mail: info@moriokaymca.org URL: <http://www.ymcajapan.org/morioka/>

「思い出たくさんYMCA」

八重樫 悠大（土淵中学校 1年）

僕はYMCAで6年間、卒業するまでお世話になりました。

小学1年生のときに学童に入り、外でみんなとサッカーをしてよく遊びました。親が迎えに来るまであきずに遊び、とても楽しかったです。他にも、お泊まり会をしたり、映画鑑賞、お誕生日会、クリスマス会など、様々な思い出を作ることができました。

また、僕はサッカースクールとベストキッズにも通っていました。長い距離を走ったり、苦手なメニューに取り組んだり、試合で大敗したりと、つらい思い出もあります。また、小学6年生でひざの怪我をし、悔しい思い出もしました。しかし、練習をみんなですべて楽しく行ったり、試合に勝ったりと、良い思い出もたくさんあります。僕はYMCAに入っても良かったと思いました。

YMCAでの1番の思い出は、みんなと宿泊した

ことです。キャンプやお泊まり会などで、友達と宿泊することは、やはり楽しいです。1日中みんなと一緒に、夜ご飯を作ったり、夜をみんなと楽しく過ごしたりと、なかなかできない体験ができ、とても良かったです。

YMCAでの6年間の思い出は、僕にとってとても大切なものになりました。もし、YMCAに入っていなければ、サッカーをやっていなかったろうし、みんなと宿泊もできていなかったと思います。本当に感謝しています。リーダーたちからよく言われた、「人間として当たり前前のを、当然のようにやれ。」この言葉を胸に頑張っていけます。



★2017年度 夏のキャンプ報告★

わんぱくキャンプ



こんにちは！チーズです★わたしからわんぱくキャンプの様子を報告させていただきます！今年のわんぱくキャンプは、7月16日(日)～17日(月)の2日間、つどいの森で行われました。わんぱくキャンプはチャレンジのキャンプ。子ども達にとってもリーダーにとってもたくさんチャレンジできるキャンプです。

キャンプ1日目、午前中は雨が降ってしまいびしょぬれキャンプかな？と思いきや午後にはぼつぼつと雨が上がり、びしょぬれにならずに外で思いっきり駆け回ることができました！そして最初の大きなチャレンジ、ご飯作りです。子ども達には自分のやりたいものをやってもらいました。最後まであきらめずにできるかな？…そんな心配もご無用。子どもたち一人ひとりが目の前のことに一生懸命取り組みました。自分と同じくらい大きな鉈を持って薪を割ったり、切りづらい野菜を切ったりする姿は素直にすごいと感じます。みんなで頑張ったカレーはほんとうに美味しい！！ナイトプログラムは…パクッと星人がやってきました！みんなで協力して元の世界に戻ることができました♪暗い道もたくさん星人も子どもたちにとっても忘れられない時間になったと思います。



2日目は朝から太陽がでていてまさに夏！みんなでおもしろいおにぎりに握った後は、お待ちかねフリータイムです。虫捕り、おたまじゃくし捕り、おにごっこ、陣取り…昨日まで話したことのなかったお友だちとも知らぬ間に仲良くなり一緒に遊んでいました。

キャンプで過ごした2日間はリーダーたちにとっても子どもたちにとってもずっと忘れられない大切な思い出になったと思います。冒頭で言いましたが、わんぱくキャンプはチャレンジのキャンプ。キャンプで起こる一つ一つのことが子どもたちにとってチャレンジだとわたしは思います。そして、チャレンジすることを恐れない子どもたちはいつまでも私のお手本であり、もっと頑張ろうと思える源です。来年のわんぱくキャンプはどんなキャンプになるのか楽しみです♪あっという間の2日間でした！ありがとうございました。



盛岡大学児童教育学科3年
小野寺保乃香 (チーズリーダー)

サッカーキャンプ



7月31日(月)～8月3日(木)に、国立岩手山青少年交流の家でサッカーキャンプが行われました。

サッカーキャンプは盛岡だけでなく、東京などからも子どもたちが参加して多彩な個性の光るキャンプとなりました。初めましてでも一緒にサッカーをしてしまえば知らず知らずのうちに友達になっている、そんな雰囲気です。1日目の練習が終わったころにはお互いに名前を呼びあい片付けなどを協力する姿が見られました。

2日目はプールに入り、流れるプールやウォータースライダーなど、夏の遊びを満喫。水中鬼ごっこや水の掛け合いをしている子もいれば、リーダーの背中中でひたすらしがみついで遊んでいたり、水流を作るために水を出している部分でひたすらに水流に耐えていたり、ここでも個性を垣間見ることが出来ました。夜からは最終日に行われる岩手山カップに向けて4つのチームに分かれ、それぞれチーム名を決めたり、オリジナルユニフォームを作ったり、練習を考えたりしました。勝利を目指し、活発に、でも楽しく話し合いをしていたように思います。

3日目にはバーベキューも行われ、たもりリーダーやジーパンリーダーが歌やダンスをしながら楽しく焼いたお肉や野菜をみんなで



わいわい食べました。片付けは子どもたちが自主的に動き、最後までしっかり協力していたことがとても印象に残っています。いよいよ4日目の岩手山カップ当日になり、手作りのユニフォームを着て、声を張り、体を張り、走り・・・笑いあり、涙ありの、想いのこもったプレーが多くみられる大会となりました。

サッカーが好き、うまくなりたい、そんな気持ちを共通して持っているメンバーだからこそその楽しさや対立、そしてたくさんのドラマがありました。子どももリーダーも全力を尽くし、お互いを認め合い、協力し合った3泊4日は本当にいろいろなことがあり、笑いや涙がその充実を物語っているように思います。うまくなってまた来年会おう！と別れ際に話している様子を、切磋琢磨する子どもたちの仲間意識を感じるの出来るキャンプになりました。

岩手県立大学短期大学部2年
早坂知美 (ちよびリーダー)



森の大自然満喫キャンプ



皆さんこんにちは！マックスです。私は森の大自然満喫キャンプのメインを務めさせていただきました。外山森林公園で8月4日(金)～5日(土)の2日間の報告をしたいと思います。

バスで外山森林公園へ！管理棟の方にしっかりと挨拶をしてテントへ向かい、準備してお弁当を食べたあとはプログラムです！どのグループも森を歩き回り、自然を満喫しながらグループで話し合っってミッションを達成していました。そして巨大な輪っかで人間輪投げをしてとても盛り上がりました！お腹がすいたところで夕食作りのスタートです。薪割り、包丁とやりたいことに分かれて作業開始。薪割りではチャレンジする低学年や、それを手伝う高学年の姿が見られました。包丁班も皆一生懸命具材を切っていました。火付けをする子も現れ、汗をかきながら火を起こしていました。皆で作って皆で食べた夕食はとっても美味しかったです。自分の皿を最後までしっかり洗うと下のファイヤーサークルには炎が。キャンプファイ

ヤーの始まりです！歌ったり踊ったりして大騒ぎ！最後には全員でキャンプソングを歌い、充実した1日となりました。

2日目の朝の集いでは震源地ゲームをして全員で楽しみました！朝ごはんを食べて、午前と午後はお昼を挟んでフリータイム！虫取り網を持っていざ出陣！トンボやアメンボ、カナヘビを夢中になって追いかけ、自然を満喫していました！午後は滝を見に行く勇敢なグループもあれば大勢で水鉄砲合戦をするグループも！リーダーに狙いを定め皆で水をかけていました！リーダーも子どもたちも全力で走り回りました。片付けをして管理棟に挨拶をし、バスに乗って帰りました。



この2日間は自然を満喫して走り回りました！怪我もなく子どもたちの笑顔が多く見られた充実したキャンプとなりました。また皆と遊ぶことを楽しみにしています！

岩手大学教育学部2年
東彩由海 (マックスリーダー)



島のわくわくキャンプ



こんにちは♪マックです！島のキャンプでは気仙沼大島に8月6日（日）～9日（水）の4日間、行ってきました。フェリーではカモメに手渡しでかっぱえびせん渡しに挑戦をし、キャンプ場については、グループ毎に分かれ、島で磯や地獄岬に探検に行ったりしました。ナイトプログラムではグループで1つの旗を作りました。みんなで案を出し合い、それぞれのグループの個性が光る旗が完成しました。

2日目は海水浴をしました。波乗り隊や、カニ獲り隊、泥投げ、砂浜でリーダーを埋めるなど、思いっきり海を楽しむことが出来ました。また、夜は薪割り、火つけに挑戦しグループ毎に飯盒でお米を炊きました。夕食は隣のテントのグループと合体して、みんなでワイワイ食べました。その後のナイトプログラムではグループ対抗のゲームをした後にある発表がありました。それは3日目にお祭りをするという発表です！！グループ毎にゲームやご飯のメニューを考えたり、お祭りの実行委員を決めお祭りを盛り上げるための案を出し合いました。そして、グループ毎の係を決めたり、スタンプ大会をする事にしました。

そして、3日目のお祭り準備では、雨の関係で祭りで出すご飯を自分たちで作ることはしませんでした。それぞれのグループで、スタンプ大会の練習をしたり、お祭りで出すゲームを作ったりしました。また、それぞれの係がグループでお祭りを盛り上げる装飾を作ったり、地図を作



たり、お金を作ったり、みんなでお祭りを作りました。そして、パフォーマンス大会では、踊ったり、クイズ大会をしたり、劇をするなど、グループの工夫が満載で大盛り上がりしました。お祭りでは、射的に輪投げ、おみくじ、飴すくい、カニスくいなどたくさんのゲームが出されました。高学年の子が低学年の子にルールを丁寧に教えている姿、射的をセットしてあげる姿、おまけをしてあげたり、笑い声でいっぱいの大盛り上がりのお祭りでしたが、とても暖かい雰囲気のお祭りでもありました。そんな素敵な時間をみんなで作れたことがマック自身もとても嬉しかったです。



最終日はグループ関係なく、虫取りや探検、ダルマさんが転んだなどをしました。お昼ご飯はみんなで食べ、どこからともなくキャンプだほいが歌われ、リーダーのオリジナルキャンプだほいや、みんなで歌を歌ったりして過ごしました。

今回の島のキャンプでは、みんなそれぞれ違うから喧嘩したり上手くないかないこともたまにはあるけど、それを乗り越えて、やっぱりみんなで作るキャンプは最高だなと強く感じたキャンプでした。島キャンのみんな、最高の夏の思い出をありがとう！！



岩手看護短期大学3年
鬼柳琴（マックリーダー）

星空満天キャンプ



こんにちは、ビリケンです！星空満天キャンプは8月10日（木）～8月12日（土）に焼走り国際交流村で行いました。

今回の星空満天キャンプは、残念ながら3日間を通してあいにくの曇り空となってしまいましたが、曇り空の中でも元気いっぱい楽しく過ごすことができました☆

1日目は、緊張した顔の子どもたちも居ましたが、みんなで協力してテントを建てたり、プログラムをしたりするうちに段々と緊張がほぐれていったようでした。晩ご飯づくりは、グループごとに飯盒で米を炊いたのですが、新聞紙や薪が湿気っていたこともあり、みんなとても苦労していました。それでもなんとかお米が炊き上がり、みんなでカレーライスを食べました。晩ご飯後の天文台でも、やっぱり曇り空で望遠鏡で星を見ることは出来ませんでした。とても親切な施設のおじさんが星についてのいろんなお話をしてくれました。

2日目の午前中はプログラムをして遊びました。キャンプ場内のいろんな場所に隠されている文字を集めてグループごとに面白い文章を作ろう！というプログラムです。それぞれのグループが個性豊かな文章を上手に作り上げていました。昼食のサラダうどんを食べたあとはフリータイムでした。フリータイムでは、ファイヤーサークルを使ってドーンじゃんけんをしたり、ケイドロをしたり、ナイトプログラムで行うスタンプ大会での出し物をグループごとに話し合ったりして



ました。晩ご飯作りでは、みんなで役割り分担をして、ひつつみとわかめご飯を作りました。薪割りではわり箸ほどの細さに切れるようになったり、火加減を上手にコントロール出来るようになったり、子どもたちの成長を見ることができました。ナイトプログラムはキャンプファイヤーの予定でしたが雷が聞こえたため、急遽、室内でのスタンプ大会のみに変更となりました。しかし、どのグループの発表でもたいへん盛り上がりキャンプに来ている全員が一体となって楽しむことができました。

3日目の午前中のフリータイムでは、グループオリジナルの星座を考えたり、ケイドロをしたりして過ごしました。昼食後の午後のフリータイムでは、小雨の中、焼走り溶岩流という溶岩だらけの道を散歩したり、室内で風船バレーをしたり、だるまさんがころんだをしたりして遊びました。午後は小雨が降っていたため外で思いっきり遊ぶ状態ではありませんでしたが、それでも子どもたちはグループの壁を超えてたくさんのお友達と遊んでいました。

今年の星空満天キャンプでは、3日間を子どもたちと共に過ごしていく中で、子どもたちの成長を切に感じる事ができました。天候には恵まれませんでしたが、たくさんの経験を得ることができたのではないかと思います。みんな一体となって盛り上がったキャンプになっていたと思います。

でも、やっぱり、来年こそは、満天の星空を見たい！！来年に期待！

岩手大学教育学部2年 二永芽生(ビリケンリーダー)



中高生キャンプ



7月28日（金）から30日（日）、盛岡YMCA初の試みとなる中高生キャンプを開催しました。中学1年生が1人、高校1年生が1人、高校2年生が2人、高校3年生2人の6人のメンバーが参加し、キャンプを通して「自分の居場所」を見つけることができたキャンプになったと感じています。

このキャンプでは「自主性」を大切に考えてコーディネートされたキャンプで、28日（金）に集合場所の内丸教会に集まった後、「このキャンプをどう創っていくか？」のミーティングをスタッフ・リーダーも含め全員で行いました。キャンプ中のご飯はどうするのか？キャンプ中の様々な役割は誰が担うのか？何を過ごし、何を感じ、何を楽しみキャンプを過ごすのか？キャンプ中のルール設定はどうするのか？スタッフがファシリテーターとなり自分たちがこれから過ごすキャンプを全員で形にしていき、これからのキャンプのイメージを共有していきました。また、自然との触れ合いや、遊びを通してだけでなく、キャンプ2日目には「人間関係トレーニング」を実施し、「自分と他人の違い」や「全体における自分の役割」「対立を乗り越えての協調」についてワークショップを通して深め合うことが



できました。思春期真っ只中の中高生にとって、「自分は自分でいいんだ」「自分はやればできるんだ」という感覚は、日々の忙しさや、学校生活の中での悩み、苦しみや人間関係の難しさの中で少しずつ薄れていってしまっています。今回のキャンプを通して「自分は自分でいいんだ」「自分と他人は違うけれど繋がれるんだ」と一人一人がその子なりに感じてくれていたら嬉しいです。

どのキャンプもそうですが、このキャンプでもキャンプの凄さや楽しさを改めて感じると共に、参加したメンバーが「仲間」となる瞬間の輝きを体験することができました。今後も様々な場面で中高生たちと繋がり、かけがえのない瞬間を共に過ごし、成長していければと思います。最後になりますが、このキャンプにご支援いただいた皆様、そして参加してくれたメンバーのみんな、素敵なキャンプをありがとうございました。

盛岡YMCAスタッフ
伊藤真太郎（ひげたまゴリーダー）



